

やさき

おっちゃん すごいな!

老人クラブが学童保育と交流



児童、大人ともに入賞



2月1日(金)、河東小学校体育館にて、河東地区老人クラブが同校学童保育の児童と「輪投げ」で、異世代交流会を実施しました。

この交流会は、老人クラブの活性化や若い層にも魅力ある組織となるよう、若手高齢者(75歳未満)で構成した若手委員会が中心となり、老人クラブの子育て支援活動の一環として行われたものです。開始前、まずは少し緊張した様子の児童に手ほどきです。「おっちゃん、すごいな」



学童35名と老人クラブ36名が交流

(山崎支部 春名豊滋)

「僕らこそ、ええことするな」と、参加者の顔もほころぶ明るい雰囲気交流会となりました。

老人クラブ活動は「人生を楽しい時間づくり」の活動でもあります。長年培った知恵や力を発揮し、豊かな地域づくりに貢献しています。

今後、団塊の世代を地域で受け入れる大きな窓口のひとつとして、さらに地域や人をつなぐ活動を進めて行きます。

いのみや

東京マラソンを完走!

義足のランナー田下さん



昨年開催の「第7回全国障害者スポーツ大会」に、やり投と100m走で兵庫県代表として出場 (写真中央)



田下さんは、フルマラソンを2時間37分で走るほどの力のあるランナーで、障がいをもってからも、ホノルルマラソンを完走。今回は、15年ぶりの挑戦でした。

「家族やみなさんの応援が力となりました。」「本当に気持ち良く走ることが出来ました。」と、障がいを負っても走りつづける田下さん。社協ではこれからも彼を応援していきます。

(一宮支部 波多野好則)



ゴール後、萩本欽一さん(右)、久本雅美さん(上)、徳光和夫さん(左)から祝福を受ける田下さん

は が
気づきの福祉学習を
道谷小で手話教室



生垣さんをみて一生懸命

積雪 1 m 80 cm の中、2 月 14 日（木）道谷小学校において、低学年対象の手話教室を実施しました。

講師は、ろうあ協会の生垣さん。はじめに耳が聞こえないことを劇を交えて説明。その劇に、自転車を持ち込み先生も登場。先生の名演技で子



「田」の字にみえる？

どもたちはにっこり。その後、「昔話あてっこ」「ジェスチャーゲーム」で言葉を使わない体験をした後、手話であいさつと自己紹介を習いました。

児童のアンケートでは、「耳が聞こえない人のことがわかってよかった」「もうちょっと手話を覚えて聞こえない人を助きたい」などの感想が寄せられました。

障がいのある方が参加し、ふれあうことで、子どもたちなりの気づきがあります。自分たちで気づく福祉学習を今後は学校だけでなく地域でも取り組んでいきたいと思えます。

（波賀支部 坂本幸子）

くさ
みんなが笑顔になれる
ち
雪遊びボランティア!!

2 月 4 日から 8 日までの 5 日間、ちくさ高原スキー場で「姫路市特別支援学級交流・校外学習」として「雪遊び」が行われ、のべ 29 名の「雪遊びボランティア」が活躍しました。

このボランティアは、姫路市の特別支援学級（小中学校）に通う子どもたちの雪遊びをお手伝いするもので、今年で 9 年目となります。

ボランティアのみなさんは、「自分にも何かできないかと思つて」と参加された 60 代の



千種高校ボランティア部のメンバーは、今年も大活躍！



雪遊びを満喫した子どもたちを見送るボランティア

女性。進路が決まり、卒業までの時間を有意義に過ごしたいと応募してくれた高校生など、年齢もさまざまでした。

毎年、仕事を休んで参加される男性からは「やめられないボランティアです。いつも子どもたちに元気をもらっています。」といううれしい感想が寄せられました。

みんなが笑顔になれるこの行事。ボランティアに支えられながら、今後も協力していきたいと思えます。

（千種支部 山木志穂）